



探究レポート構成シート

といのタネ

このシートは、探究レポートを「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」の4章に分けて書くための記入用紙です。空欄を順番に埋めていくと、レポートの骨組みが完成します。

氏名: _____ クラス: _____

_____ 提出日: _____

探究テーマ: _____

ステップ1 課題の設定を書き出す

ここで何をするか: 探究の問いと、その問いを選んだ理由を書きます。問いは「なぜ／どのように」で終わる一文にすると、後の章とつながりやすくなります。

問い: _____

問いを選んだ理由: _____

記入例

問い: 地域の商店街で若い世代の来店が減っているのはなぜか

理由: 通学路にある商店街のシャッター店舗が増えていることに気づいたため

ステップ2 情報の収集を記録する

ここで何をするか: 調べた資料と、その出典を表に記録します。出典が書けない情報は本文に使いません。資料名は「発行元＋タイトル」まで書くと、後で見直すときに探しやすくなります。

No	調べた内容	資料名・出典	発表時期
例	商店街の来店者数の推移	〇〇市商工課「商店街実態調査」	令和6年3月
1			
2			
3			
4			
5			

ステップ3 整理・分析で分かったことを書く

ここで何をするか: 集めた情報から読み取れたことを、自分の言葉で3つにまとめます。資料の文章をそのまま写さず、「～だと分かった」という形で書きます。

分かったこと1: _____

分かったこと2: _____

分かったこと3: _____

この3つから言えること(共通点や矛盾点):

ステップ4 まとめ・表現を組み立てる

ここで何をするか:結論と、今回の探究で残った課題を書きます。結論は、ステップ1で書いた問いに対応させます。

結論: _____

結論の根拠にした「分かったこと」の番号: _____

残った課題(次に調べたいこと): _____

AIチェックの記録

ここで何をするか:AIに骨組みを見てもらった指摘のうち、直した点だけを記録します。指摘をそのまま貼り付けず、直した内容だけを書くと見返しやすくなります。

指摘された点	直したか	直した内容
例:出典が書かれていない	直した	〇〇市の資料名を追記した

使用したAIツール名: _____ 確認した日付: _____

このシートの4章がそのままレポートの見出しになります。各章の記入欄を、記事の「分量の目安」に沿って文章に膨らませてください。